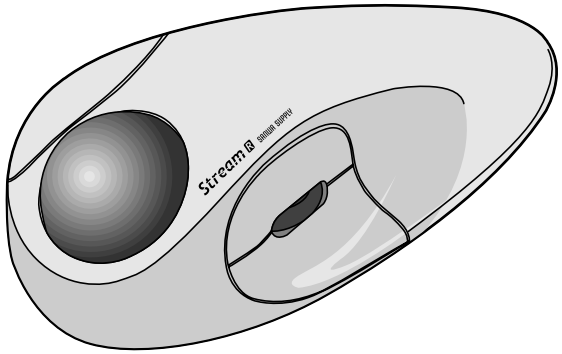
SANWA SUPPLY ワイヤレストラックボール 取扱説明書

MA-TBW34シリーズ

コンボ

USB + PS/2



Stream R

ワイヤレス トラックボール

最初にご確認ください。

セット内容

- ●ワイヤレストラックボール本体 ……1台
- ●コンパクト直付けレシーバー ……1台
- ●ドライバディスク(8cmCD) ……1枚
- ●延長ケーブル（1m） ……1本
- ●変換アダプタ(USB-PS/2) ……1個
- ●単三乾電池（テスト用） ……2本
- ●取扱説明書 ……1部

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。
最新の情報は、当社Web(http://www.sanwa.co.jp/)をご覧ください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。
本誌に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

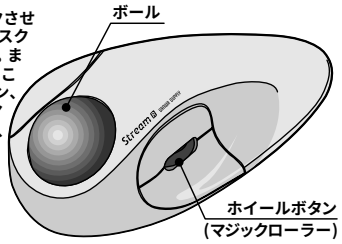
目　次

1 ●はじめに
●警告
2 ●対応機種
●接続する前に必ずお読みください。[Windows用]
・本製品をUSBポート接続する際の注意
・BIOS上でUSBがdisable(無効)になっている場合
3 ●トラックボールの接続[Windows用]
・トラックボールの設定　・トラックボール（レシーバー）の接続
・トラックボールの接続
・USBポート接続の場合　・PS/2マウスポート接続の場合
8 ●ドライバソフトをインストールする前にお読みください。[Windows用]
9 ●ドライバソフトのインストール[Windows用]
10 ●ボタンの特長
11 ●ドライバソフトの特長[Windows用]
・ドライバソフトの設定画面を開く　・マジックローラー
・ポインタ　・カーソル　・アクション　・設定
・Easy Jumpの特長　・モード　・バージョン情報
・方向　・ドライバソフトのアンインストール
16 ●ドライバソフトのインストール[Mac OS 8.6～9.2.2用]
●MouseToolコントロールパネル[Mac OS 8.6～9.2.2用]
17 ●ドライバソフトの削除（アンインストール）[Mac OS 8.6～9.2.2用]
●ご使用上の注意
18 ●トラブルシューティング

はじめに

このたびは、ワイヤレストラックボール（ストリーム　R）をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本製品はRF方式のワイヤレストラックボールですので、入力操作の際ケーブルが邪魔になるといった煩わしさがなく、快適な環境でのコンピュータ操作が可能となります。
また、ホイールボタンを回転・クリックさせるだけでWindows上で簡単に画面スクロール等をおこなうことができます。また添付のドライバをインストールすることにより、イージージャンプ、オートパン、ズームなどのアプリケーション・コマンドを割り付けすることもできますので、幅広いナビゲーションが可能となります。

※ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お手元に置き、いつでも確認できるようにしておいてください。



警　告

■テレビ/ラジオの受信障害について
本製品は、FCCの定めるクラスBのコンピュータ機器に対する許容条件につき、所定の審査の上、FCC-15章の規定内容に適合するものとして認定されています。FCC-15章は居住環境において防止すべき受信障害の規制基準を定めたものですが、装置の設置状況によっては受信障害が発生する場合があります。
ご使用のコンピュータシステムが受信障害の原因となっているかどうかは、そのシステムの電源を切ることでご確認いただけます。電源を切ることにより受信障害が解消されれば、ご利用のコンピュータ、あるいは、その周辺装置が原因であると考えられます。
ご使用のコンピュータシステムがテレビやラジオの受信状態に影響している場合、以下の手順のいずれか、あるいはいくつかを組み合わせてお試しください。
●テレビまたはラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しない位置を探してみてください。
●テレビまたはラジオから離れた場所にコンピュータを設定し直してください。
●テレビまたはラジオとは別の電源供給路にあるコンセントにコンピュータを接続してください。
●状況に応じ、テレビ/ラジオの修理業者またはマウスの販売店にもご相談いただけます。
■注　意
本製品に対し許可しない変更または加工が加えられた場合、FCCの許可が無効となり、正規の製品としての使用は認められませんのでご注意ください。

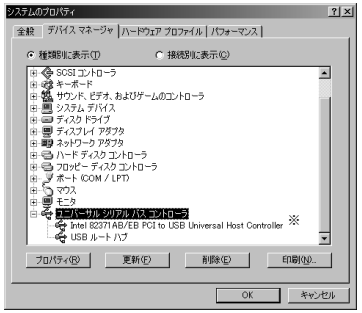
対応機種

本製品には、下記のハードウェア、またはソフトウェア以上のものをご使用ください。
●Windows搭載パソコン(各社DOS/Vパソコン)、
Apple iMac・iBookシリーズ、Power Mac G4/G3シリーズ
※USBポートもしくはPS/2マウスポートを持つ機種
●対応OS：
◆USBポート接続：Windows XP・2000・Me・98SE・98、Mac OS 8.6以降（Mac OS Xは、OS標準ドライバでスクロールアプリケーションでのみスクロール可能。）
◆PS/2ポート接続：Windows XP・2000・Me・98SE・98・95・NT4.0（SP3以降）

接続する前に必ずお読みください。［Windows用］

■本製品をUSBポート接続する際の注意

本製品はWindowsにおいて自動認識され使用可能となります。本製品が正常に動作しない場合は、USBインターフェイスが正常に動作しているかどうかをチェックしてください。
「スタート」→「設定(S)」→「コントロールパネル(C)」→「システム」の順に選択し、「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」の項を展開します。USBインターフェイスが正常に動作していれば、下のような画面が表示されます。



USBデバイスアイコンに「!」マークが表示されていたり、もしくは「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のデバイスがなにも見つからない場合、マザーボードのBIOSのアップグレードや、BIOSの設定をご確認ください。初期状態ではUSBポートの使用が不可に設定されている機種もあります。

※「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のベンダー名、デバイス名はマザーボードによって異なることがあります。表示がIntel（インテル社）以外の場合もありますので、詳しくは本体（マザーボード）メーカーのサポートにお問い合わせください。

■BIOS上でUSBがdisable（ディセーブル=無効）になっている場合

●BIOS上のUSBをenable（イネーブル=有効）にしてください。BIOS設定画面はコンピュータ起動時にF1かF2を押して表示させるものが多いですが、詳細な方法等については、コンピュータ本体のマニュアルをご覧ください。

トラックボールの接続［Windows用］

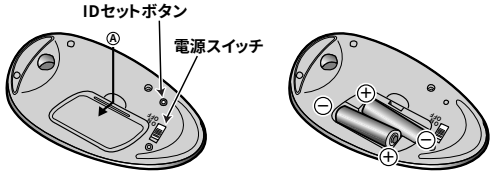
※注意:トラックボール用レシーバーを接続する前に他のアプリケーション（ウィルス検索ソフトなどの常駐ファイル）を終了させておくことをお薦めします。

■トラックボールの設定

1.ワイヤレストラックボール裏面の電池カバーをⒶの矢印の方向に押して取り外してください。トラックボールに付属の単3電池を2本入れ、電池カバーを取り付けてください。電池を入れる際、電池の方向には注意してください。（下図参照）

2.ワイヤレストラックボール裏面の電源スイッチをONにします。
※長時間トラックボールを使用しない場合やトラックボールを持ち歩く際などに光学式センサーが点灯していると、電池が消耗しますので、電源をOFFにすることをお薦めします。
※トラックボールの電池は、通常の使い方において2～2.5ヶ月が目安になっています。（付属の電池は、テスト用ですので、電池寿命は短くなります。）電池交換の際は、アルカリ単三乾電池をご使用ください。

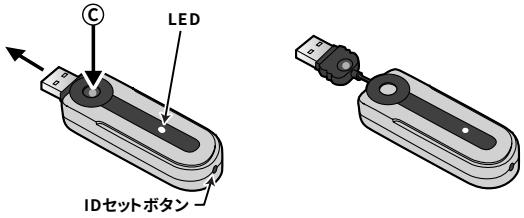
〈ワイヤレストラックボール裏面〉



■トラックボール（レシーバー）の接続

●USBインターフェースによる接続
1.コンピュータの電源を入れ、Windowsを完全に起動します。
2.レシーバーをコンピュータのUSBポートに接続し、IDセットボタン設定（ID設定方法:7ページ）を行ないます。USBポートに直付けレシーバーが接続しにくい場合、レシーバーの（Ⓒ）を親指で軽く押しながら、USBコネクタをスライドさせて外して接続してください。（USBコネクタをスライドさせて外す際、極端に力を加えないでください。ケーブルの断線の原因になります。）

〈レシーバー〉



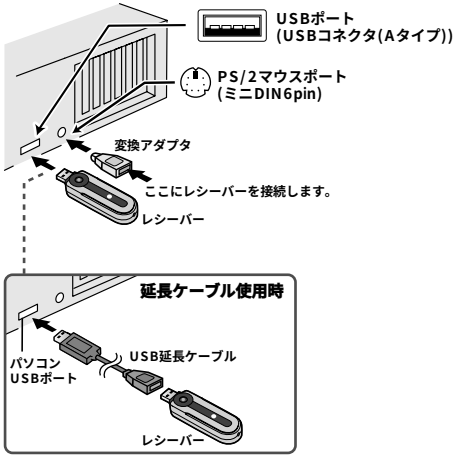
トラックボールの接続［Windows用］（続き）

■トラックボール（レシーバー）の接続

本製品は、USBインターフェイス及びPS/2マウスインターフェイスに対応したコンボタイプのトラックボールですので、接続には二通りの方法があります。

・USBインターフェイスによる接続
1.コンピュータの電源を入れ、Windowsを完全に起動させます。
2.本製品をコンピュータのUSBポートに接続します。

・PS/2マウスポートによる接続
※PS/2マウスポート接続の場合、注意していただきたい事項がありますので、6ページを参照の上、接続してください。
1.コンピュータの電源を切ってください。
2.コンピュータに接続されているマウス等が他にあれば、取り外してください。
3.付属の変換アダプタを使用して、本製品をコンピュータのPS/2マウスポートに接続します。
4.コンピュータの電源を入れ、Windowsを完全に起動させます。



詳細な設定については、後ほど説明します。接続の際、コネクタには上下がありますので注意してください。

※一部の富士通FMVノート、IBM ThinkPadなどポインティングデバイス内蔵の一部のノートパソコン（排他制御機能のないタイプ）及びNEC PC98-NXデスクトップパソコンなど（USBキーボードにPS/2マウスポートが付いているパソコン）には、USBポート接続により対応しています。

トラックボールの接続［Windows用］（続き）

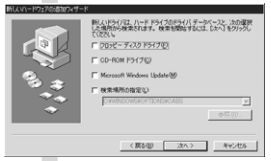
USBポート接続の場合

①コンピュータの電源を入れ、Windowsを完全に起動させます。
②本製品を、コンピュータのUSBポートに接続します。
③自動的にハードウェアの検知が始まり、デバイスドライバを更新するためのウィザードが起動します。
④あとは、画面の指示に従ってインストール作業を進めてください。
※Windows XP・2000・Meは、下記インストール方法と多少異なり、タスクバーに「新しいハードウェアが見つかりました。」「使用できる準備ができました。」と表示されて、自動的にインストールが完了します。

新しいハードウェアの追加ウィザード

●新しいドライバを検索しています。
USBヒューマンインターフェイスデバイス
…… 次へ 〉

●検索方法を選択してください。
○使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）…… 次へ 〉



●新しいドライバは、ハードドライブのドライバデータベースと、次の選択した場所から検索されます。
チェックボックスにチェックマーク（☑）を
入れずに …… 次へ 〉
もし、検索場所を聞いてきたら、
☑ 検索場所の設定（L）
C:\WINDOWS\INF ▼ ※
もしくは、
C:\WINDOWS\OPTIONS\CABS

※上記の検索場所でドライバが見つからない場合は、CD-ROMドライブにWindowsのCD-ROMを挿入し、☑ CD-ROMドライブ（C）にチェックを付けてください。

●次のデバイス用のドライバファイルを検索します。
USBヒューマンインターフェイスデバイス
…… 次へ 〉

トラックボールの接続［Windows用］(続き)

●USBヒューマンインターフェイスデバイス
…… 完了

※接続が完了したら、ID設定方法（7ページ）へ。

ＰＳ/２マウスポート接続の場合

※本製品を接続する前に、内蔵ポインティングデバイスを使用しないように設定してください。

タッチパッド等のポインティングデバイスは、外付けPS/2マウス・トラックボール等と併用することはできません。代表的な設定の例を下記にて説明しますが、詳細につきましては、パソコン本体のマニュアルをご覧ください。

●NEC PC98-NXシリーズ・富士通 FMV-BIBLOシリーズ・
SHARP Mebiusシリーズの場合
1.起動時、NECロゴ等が表示されている間に「F2」キーを押してください。
2.詳細→NXパッドを自動にしてください。
※以前の機種では、使用する/使用しないの選択項目になっていますので、「使用しない」にしてください。
●ソニー VAIOシリーズの場合
コントロールパネル→Notebook Setupにて、タッチパッドを使用しないように設定してください。
●東芝 Dynabookシリーズの場合
スタート→プログラム→東芝ユーティリティあるいは、
ハードウェアセットアップ→ハードオプション→ポインティング装置で、自動あるいはオフにしてください。
●IBM ThinkPadシリーズの場合
ThinkPadユーティリティで、トラックポイントを使用しないに設定してください。

上記設定後に、トラックボール（レシーバー）を接続します。

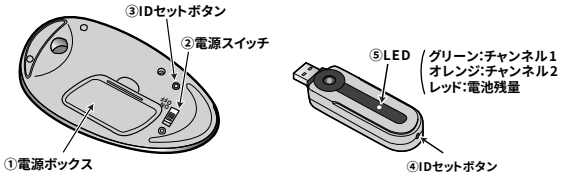
①コンピュータの電源を切ってください。
②コンピュータに接続されているマウスが他にもあれば、取り外してください。
③付属の変換アダプタを使用して、本製品をコンピュータのPS/2マウスポートに接続します。※接続方法については4ページを参照してください。
④コンピュータの電源を入れ、Windowsを完全に起動させます。

※接続が完了したら、ID設定方法（7ページ）へ。

トラックボールの接続［Windows用］(続き)

■ID設定方法

レシーバーの設定が完了したら、次にチャンネル及びID番号を設定します。



チャンネル及びID番号を設定する前に、①(トラックボール裏面の電池ボックス)に電池が正しく入っているか、②（電源スイッチ）がONになっているか確認してください。

1.ペン先等を使って④(レシーバーのIDセットボタン)を押します。
2.⑤（レシーバーのLED）がグリーンもしくはオレンジに点滅します。
3.⑤(レシーバーのLED)が点滅している間に、③（トラックボール裏面のIDセットボタン）を押します。
4.⑤(レシーバーのLED)がグリーンからオレンジ、もしくはオレンジからグリーンに変わって、3～4秒間早く点滅します。
5.トラックボールが認識されたら、⑤(レシーバーのLED)が消灯します。
6.これで設定は終了です。ボールを動かしても、マウスポインタが動かない場合は、再度上記の設定を行ってみてください。
7.これでトラックボールは使えるようになりました。Windowsが標準で持っているマウスドライバで、スクロールモードもご使用になれます。
（サイド右・左ボタンを除く）
※ボールを動かした際、レシーバーのLEDがグリーンに点灯する場合はチャンネル1、オレンジに点灯する場合はチャンネル2に設定されています。またレッドに点灯する場合は電池が少なくなっています。
※チャンネル(CH1もしくはCH2)はID設定で交互に、ID番号(1～256)は自動的に設定されます。2台以上のトラックボールを有効使用範囲内でご使用の際、マウスアイコンの動きがスムーズでないといった場合には、このID設定を再度行ってください。
※パソコンの電源を立ち上げ直した場合、もしくはトラックボールの電源スイッチをON・OFFした場合でも、この設定を再度行う必要はありません。

ドライバソフトをインストールする前にお読みください。［Windows用］

※重要（必ずお読みください）

本製品の添付ドライバソフトがインストールされていない状態でも、トラックボールの基本的な機能は使えます（Windows NT4.0 Windows 95を除く）。
イージージャンプ、ボタン割り付け、サイドボタンの使用等の特別な機能を使う場合、添付ドライバのインストールが必要になります。

■内蔵ポインティングデバイス用ユーティリティの削除

本製品添付のドライバは、各社PCにあらかじめインストールされている内蔵ポインティングデバイス用のユーティリティと併用できません。ユーティリティを削除するか、添付ドライバをインストールなさらずにお使いください。
添付のドライバをインストールされない場合は、サイド右・左ボタンは使用できません。
各ユーティリティによって削除方法が異なります。以下をご覧ください。

ＵＳＢ接続の場合

●NEC PC98-NXシリーズ・富士通 FMV-BIBLOシリーズ・ソニー VAIOシリーズの場合
デバイスマネージャ→マウスでNXPADあるいは「Alps GlidePoint」を「標準PS/2マウス」あるいは「Microsoft PS/2 Mouse」にドライバを更新してください。
途中「このデバイスに適していない……」とエラー表示される場合がありますが、そのまま進めてください。
●東芝 Dynabookシリーズ・SHARP Mebiusシリーズの場合
アプリケーションの追加と削除より「マウスウェア」をアンインストールしてください。
●IBM ThinkPadシリーズの場合
アプリケーションの追加と削除より「IBM Trackpoint」をアンインストールしてください。
●Compaq Armadaシリーズの場合
アプリケーションの追加と削除より「Synaptics TouchPad」をアンインストールしてください。その後デバイスマネージャ→マウスで「Synaptics TouchPad」を「標準PS/2マウス」あるいは「Microsoft PS/2 Mouse」にドライバを更新してください。
途中「このデバイスに適していない……」とエラー表示される場合がありますが、そのまま進めてください。

以上で前準備は終わりです。ドライバのセットアップを開始してください。

ＰＳ/２接続の場合

●NEC PC98-NXシリーズ・富士通 FMV-BIBLOシリーズ・ソニー VAIOシリーズの場合
デバイスマネージャ→マウスでNXPADあるいは「Alps GlidePoint」を「標準PS/2マウス」あるいは「Microsoft PS/2 Mouse」にドライバを更新してください。
途中「このデバイスに適していない……」とエラー表示される場合がありますが、そのまま進めてください。
●東芝 Dynabookシリーズ・SHARP Mebiusシリーズの場合
アプリケーションの追加と削除より「マウスウェア」をアンインストールしてください。
●IBM ThinkPadシリーズの場合
アプリケーションの追加と削除より「IBM Trackpoint」をアンインストールしてください。
●Compaq Armadaシリーズの場合
アプリケーションの追加と削除より「Synaptics TouchPad」をアンインストールしてください。その後デバイスマネージャ→マウスで「Synaptics TouchPad」を「標準PS/2マウス」あるいは「Microsoft PS/2 Mouse」にドライバを更新してください。
途中「このデバイスに適していない……」とエラー表示される場合がありますが、そのまま進めてください。

そのうえで、ノートパソコンなどの場合、内蔵のポインティングデバイス（タッチパッドなど）が動かないことを確認してください。動かなければ前準備は終了です。ドライバのセットアップを開始してください。

ドライバソフトのインストール ［Windows用］

添付ドライバのインストールは、他のアプリケーション等をすべて終了させてからおこなってください。

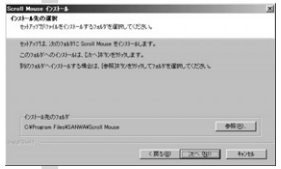
①Windowsを完全に起動させ、付属のドライバディスクをCD-ROMドライブにセットしてください。
②インストーラが自動的に起動し、以下のような画面が表示されます。

●「Stream 5ボタントラックボール」をクリックし、インストールを開始してください。
※インストールを中断する場合は「終了」をクリックしてください。
※インストーラが自動的に起動しない場合は「スタート」→「ファイル名を指定して実行（R）」で名前（O）：

D:\Setup.exe ▼

と入力していただくと、インストーラが起動します。
（CD-ROMドライブがDドライブの場合）

③Scroll Mouse用InstallShieldウィザードへようこそ
…… 次へ(N)＞



④インストール先の選択
…… C:¥ Program Files¥SANWA¥Scroll Mouse の状態で、次へ(N)＞

ドライバソフトのインストール ［Windows用］ 続き

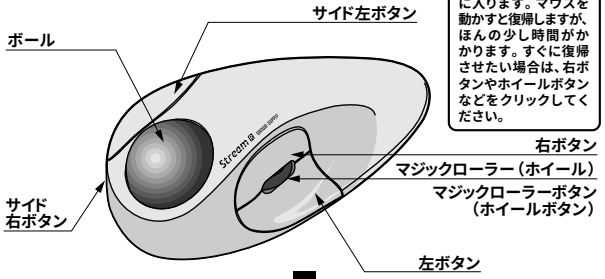
⑤プログラムフォルダの選択
……「Scroll Mouse」の状態で、次へ(N)＞

⑥InstallShieldウィザードの完了
……「はい、直ちにコンピューターを再起動します。」を選択して、終了。

ボタンの特長

●左ボタン
クリックやダブルクリックなど、一般的なマウス左ボタンと同じです。
●右ボタン
コンテキストメニューの表示など、一般的なマウス右ボタンと同じです。
●サイド左ボタン（ドライバをインストールしてお使いください。）
●サイド右ボタン（ドライバをインストールしてお使いください。）
ドライバをインストールすることにより、キーボードとマウスの両方で頻繁に使う操作を記憶させることができます。例えば、イージージャンプ、オートパン、ズームやアプリケーションソフトの割り付けなどが可能になります。また、通常の左ボタン、右ボタンの機能を割り付けることもできます。
●マジックローラー（ホイール）
WWWブラウザ画面やドキュメント画面のスクロールに使用します。
●マジックローラーボタン（ホイールボタン）
キーボードやマウス等で頻繁に使う操作を記憶させることができます。イージージャンプ、オートパン、ズームなどを割り当てると便利でしょう。

注意
本製品は、電池の消耗を押さえるため、しばらくマウス操作を行わないとスリープモードに入ります。マウスを動かすと復帰しますが、ほんの少し時間がかかります。すぐに復帰させたい場合は、右ボタンやホイールボタンなどをクリックしてください。



ドライバソフトの特長［Windows用］

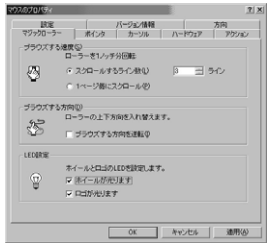
■ドライバソフトの設定画面を開く

画面右下のタスクトレイに表示されているスクロールマウスアイコンをダブルクリック、もしくは、「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」から「マウス」アイコンをダブルクリックすると、ドライバソフトの設定画面を開くことができます。

← スクロールマウスアイコン

← マウスアイコン

■＜マジックローラー＞



●ブラウズする速度

WWWブラウザやドキュメント画面でのスクロール速度を調節できます。

●ブラウズする方向

マジックローラーを前方（向こう）に回すとドキュメント先頭方向にスクロールします。逆転を選択すると逆方向にスクロールします。

●LED設定

ホイールとロゴのLEDのON・OFFを設定します。

■＜ポインタ＞

●ポインタ
マウスポインタの形を変えることができます。

■<カーソル>

●ボタン検出

ダイアログボックスが画面に表示されたとき、ポインタを自動的にボタンへ移動させます。

●ポインタの軌跡

移動残像を表示し、液晶画面でポインタを発見しやすくなります。
※この機能をサポートしていないモニタもあります。

●ループ

ポインタを画面の上端や下端まで移動させ、それ以上動かしたとき、画面の反対側にポインタが現れるようになります。

■<アクション>

●マウスの速度

ポインタの移動スピードを調節できます。

●ボタンを逆転

左右のボタン機能を切り替えます。

●ダブルクリックの速度

ダブルクリックと認識させる間隔を調節できます。

■<設定>

●ボタン割り当て
ショートカットキーなど、頻繁に使う機能を割り当てることができます。割り当てることが可能な機能は下の一覧をご覧ください。
イージージャンプ、オートパン、ズームなどの機能も記憶することができます。
ボタンをクリックすると画面に機能のリストが表示されるので、ここから任意の機能を選ぶことができます。

【ボタン割り当て一覧】

左ボタン（メイン）	コピー（Ctrl+C）
右ボタン	コピー（Ctrl+Ins）
真ん中ボタン	Enter（復帰）
ダブルクリック	Esc（エスケープ）
EasyJump	エクスプローラ
ホームページ	PageDown
パン	PageUp
アプリケーションを実行する	貼り付け（Ctrl+V）
拡大鏡	貼り付け（Shift+Ins）
ズーム	実行
Alt	スタート
Ctrl	アプリケーション切替え
Shift	Tab
Arrow Down（↓キー）	元に戻す（Ctrl+BackSapce）
Arrow Up（↑キー）	元に戻す（Ctrl+Z）
Arrow Left（←キー）	検索ウィンドウ
Arrow Right（→キー）	ウィンドウヘルプ
切り取り（Ctrl+X）	
切り取り（Shitt+Delete）	

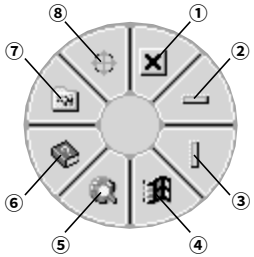
●アプリケーション:
右ボタンに設定すると、実行しているアプリケーションから他のアプリケーションに素早く切り替えることができます。アプリケーションを選択する場合は右ボタンを押しながらマジックローラーボタンを押してください。アプリケーション選択画面が表示され、簡単に選択できます。

●ズーム: Office97、Internet Explorerのズーム機能
Ctrlキーを押しながらマジックローラーを向こうへ回すと拡大、手前に回すと縮小されます。この機能 は片手で使うことが出来ます。
右ボタンに「Ctrl」キーを割り当てると、右ボタンとマジックローラーの組み合わせで、画面の拡大縮小が簡単になります。

●パン:
ボールを動かしただけで、その方向に画面がスクロールされます。

■Easy Jump（イージージャンプ）の特長

イージージャンプで8つの特別な機能を簡単に選ぶことが可能になります。



① アプリケーションの終了。
② ポインタが水平スクロールバーに移動します。
③ ポインタが垂直スクロールバーに移動します。
④ スタートメニューを開きます。
⑤ WWWブラウザを開きます。
⑥ ヘルプメニューを開きます。
⑦ スクロールマウスのコントロールパネルを開きます。
⑧ オートパン:ボールを動かしただけで、その方向に画面がスクロールされます。

ドライバソフトの特長［Windows用］ 続き

■モード

「Office97モード」は、Microsoft Intelli Mouse同様の機能になり、
「Scroll Mouseモード」は本製品特有の機能で、スクロールバーを持つアプリケーションをサポートしています。

■<バージョン情報>

●本ドライバのバージョンがわかります。

■<方向>

●方向の設定

トラックボールの方向（位置）調節ができます。

■ドライバソフトのアンインストール

●タスクトレイ（画面右下）のスクロールマウスアイコン を右クリックして表示されたメニューから「Scroll Mouseを閉じる」を選択し、本ドライバソフトを終了させます。
●スタート→「プログラム(P)」→「Scroll Mouse」の中から「Scroll Mouseのアンインストール」を実行してください。

ドライバソフトのインストール［Mac OS 8.6～9.2.2用］

本製品の右ボタンや真ん中ボタン・スクロール機能を動作させるには、添付ドライバソフトをインストールする必要があります。下記にしたがってドライバソフトをインストールしてください。

※このドライバソフトは、Mac OS X以降には対応していません。
※Mac OS X（10.2以降）は、標準でインストールされているInternet Explorer、Mail、TextEditおよびFinderなど、OS標準ドライバでスクロール可能なアプリケーションでのみスクロール可能です。また、ホイールボタン押下げによる動作はサポートしません。

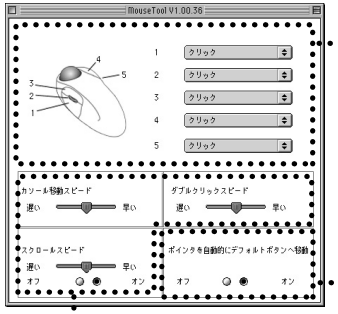
①本製品を、USBポートに接続してください。
②マウスドライバCD-ROMを、CD-ROMドライブに入れます。
③デスクトップに表示されたCD-ROMアイコンをダブルクリックして開きます。
④フォルダが3つ表示されます。5Bフォルダをダブルクリックしてください。
⑤「Install MouseTool Driver」をダブルクリックしてください。
⑥「インストール」ボタンをクリックすると、インストールが開始されます。
⑦インストールが完了したら、「再起動」をクリックし、Macintoshを再起動させてください。

Install MouseTool Driver

※PowerBook、iBookでは、機能拡張マネージャで「トラックパッド」コントロールパネルのチェックをはずし、システムに読み込まないようにしておいてください。

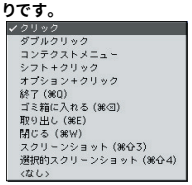
MouseToolコントロールパネル［Mac OS 8.6～9.2.2用］

アップルメニューから「コントロールパネル」→「MouseTool」を選択してください。
以下の画面が表示されます。



各ボタンに機能を割り当てます。
ボタンをクリックすると選択リストが表示されます。

割り当て可能な機能は以下の通りです。



それぞれ、スピードを調節できます。
スクロール機能はオフにすることも可能です。

ダイアログボックスが表示されたとき、二重に囲まれたボタン（デフォルトボタン）の上へマウスポインタを自動的に移動させる機能です。

ドライバソフトの削除（アンインストール）［Mac OS 8.6～9.2.2用］

①マウスドライバCD-ROMを、CD-ROMドライブに入れます。

Uninstall MouseTool Driver

②デスクトップに表示されたCD-ROMアイコンを開き、5Bフォルダ内の「Install MouseTool Driver」をダブルクリックしてください。
③「アンインストール」ボタンをクリックすると、アンインストールが開始されます。
④アンインストールが完了したら「再起動」をクリックし、Macintoshを再起動させてください。

ご使用上の注意

本製品は内部に光学式センサーを使用しているため、マウスを急に動かした場合に追従速度が低下し、マウスカーソルがスキップバックするといった現象が発生する場合があります。その際は、以下の設定を行ってください。

■WindowsMeで本製品をお使いになられる場合

「コントロールパネル」→「マウスのプロパティ」→「ポインタオプション」→「詳細設定」の□ポインタの加速度(A)のチェックマーク(☑)を外してください。
(Windows2000の場合は「マウスのプロパティ」の「動作」の中にあります。)

■WindowsMe/98SE/98でご使用の場合

ポインタの速度(S)を中間より遅い速度の設定にして使用ください。

トラブルシューティング

Q.マウスカーソルが動かない。

A. 1.ボール部のすき間の光学センサーが光ってない場合、電池が正しく挿入されているか確認してください。トラックボールの電源がOFFになっていないか確認してください。(3ページ参照)
2.レシーバー及びトラックボールのID(チャンネル)が正しく設定されているかどうか確認してください。(設定方法は7ページ参照)
3.光学センサーが光らない場合、電池寿命かもしれませんので、電池を交換してみてください。
付属の電池(アルカリ単三乾電池×2本)はテスト用なので、寿命が短い場合があります。(3ページ参照)
4.レシーバーをパソコン背面に直付けしている場合、レシーバーのUSBコネクタをケースから外した状態(3ページ)でパソコン本体に接続し、ケースの角度を変えてみてください。もしくは、付属の延長ケーブルを使って(4ページ)、レシーバーを見える位置へ出してください。

Q.トラックボールをしばらく操作しないと、動かし始めた際に少し時間がかかる。

A. 本製品は、電池の消耗を押さえるため、5分間程度ボール操作を行わないとスリープモードに入ります。ボールを動かすと復帰しますが、ほんの少し時間がかかります。すぐに復帰させたい場合は、右ボタンやホイールボタンなどをクリックしてください。

Q.マウスカーソルの動きがスムーズでない。

A. 1.他のワイヤレス機器と混信している場合がありますので、チャンネル及びID番号の設定をやり直してみてください。
2.レシーバーとトラックボールの距離を調整してみてください。レシーバーとトラックボールの距離は、0.2m～1mの間でご使用ください。
3.金属面の上では、ワイヤレス信号が乱反射し、スムーズに動かない場合がありますので、トラックボールの位置を変えてご使用になってみてください。
4.ノートパソコンでご使用の際、片手をノートパソコンの上に置いてトラックボールを操作すると、このような現象が現れる場合がありますので、その手をノートパソコンから離してご使用ください。
5.ボールを動かした際、レシーバーのLEDがレッドに点灯する場合は、電池を交換してください。
6.レシーバーをパソコン背面に直付けしている場合、レシーバーのUSBコネクタをケースから外した状態(3ページ)でパソコン本体に接続し、ケースの角度を変えてみてください。もしくは、付属の延長ケーブルを使って(4ページ)、レシーバーを見える位置へ出してください。

Q.Windowsのディスプレイモードに出ているトゥルーカラーを選択するとスクロールの動きがおかしくなった。

A. 1.ハイカラーモードを選択してください。
2.トゥルーハイカラーでは、CPUからデータを伝えるのに時間がかかります。
このため、スピードコントロールの動きが遅くなるのです。

Q.電池の寿命について

A. ご使用になられるアルカリ単三乾電池により多少異なりますが、2ヶ月～2.5ヶ月となります。ただし、1日8時間パソコンを使用中に、マウス操作を2時間程度行う場合。